



あす山



第 18 号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 左奈田雄一 編集 広報事業部

活動の充実 残る課題への取り組み ~ 22 年度活動報告 ~

臼井地区社会福祉協議会会長 左奈田雄一
「わたしも あなたも いきいきと暮らせるまち 佐倉」

「このキャッチコピー」は、社会福祉協議会が現在策定中の第 4 次地域福祉活動計画の基本理念です。超高齢化が進んでいく日本にあって、佐倉も、そして臼井も例外ではありません。

高齢の方が家に引きこもらずに、表に出ておられるだろうか？ 生きがいを感じておられるだろうか？ 障がいを持たれている方が不安なく生活をしておられるだろうか？

そんな思いで臼井地区社協の福祉委員は活動をしています。おしゃべりと歌、お菓子、そして各地区それぞれの企画で過す「いきいきサロン」は各地域で年間 10 回開いておりますが、延べ 400 人近い方が参加してくださいました。この活動には福祉委員のみでなく、地元自治会の方、高齢者クラブの方などの大勢の協力があります。地域に根付いていつでも気軽に参加していただけるサロンでありたいと思います。

でも課題もあります。参加したくても来られない方もあり、送迎をどうしようかと悩むところでした。これはひとり暮らしの方の昼食会でも同じですが、これのひとつの答えとして今年度は地区社協として初めて配食サービスを行いました。

福祉は高齢者に限りません。子ども達とのふれあい、三世代交流の場として毎年「親子いもほり会」を開催しています。今年度も 200 人近い参加者でビンゴゲームなどを楽しんでいただきました。その他にも、これらの活動をみなさまに伝える「広報部」、いろいろな社会問題に関する講習を行う「研修部」など、みんな頑張っています。



22 年度各種行事より

* 各事業部 印象に残った今年の活動について *

「新鮮な献立で美味しかった」 高齢者福祉事業部

恒例行事でもある年 2 回のひとり暮らしの高齢者昼食会（この会は、年々加齢により外出が困難だったり、億劫だったり参加者が減少しています。そこで今年度は出来るだけ多くの方に喜んでもらえる様に、「配食サービス」75 歳以上の方対象）を福祉委員だけで初めて実施しました。

健康管理センターで作った「幸せ弁当約 70 食に愛のメッセージを添え、対象者のご自宅までお届けしました。殆どの方が玄関に出て待つておられ、笑顔で「ありがとだね」と大変感謝されました。食後の感想も「新鮮な献立で美味しかった」「年一回でなくもつとやって欲しい」等の声をいただきました。

家族のような会話が交わされ、明るいふれあいの活動となりました。初めての活動でしたが、福祉委員の自信にもなり、今後の地域福祉活動にも励みが出ました。
(長谷川)

「それぞれの違いを認め合い、その人らしく」 研修事業部

「障がいのある人もない人も、お互いの立場を尊重しあい、支えあいながら、安心して暮らすこと」の出来る地域社会を目指す」というテーマで開催した「障がい児者家族との交流」は、学ぶべきことが多くありました。

障がいのある人が、住みなれた地域で自分らしく暮らしたいと願うのは人間として当然のことです。しかし実際には、理由のない誤解、偏見、無視などによって社会生活の様々な局面で「生きにくさ」「暮らしにくさ」を経験されてきたと思います。ところが今回経験談を話された「手をつなぐさくら」の会「障がい者家族の方は、明るく、たくましく、障がい者家族との連携や地域との関わりを強く求めている」ことに感動しました。

同時代に生きる私達が、それぞれの違いを認め合い、その人らしく生きられることが成熟した社会のあり方だと痛感しました。

研修部では今後も、様々な福祉課題について学ぶ場を提供していければと思います。
(宇田川)

(↑面よりつづき)

幅広い世代の交流 児童福祉事業部

1 年間を振り返って、特に印象に残ったこと
 といえば、11 月に開催した親子いもほり会
 です。毎年の行事としても定着したようで、今
 回も 200 名近くの方々が参加してくれました。
 子どもから高齢者までと、幅広い世代が一堂に
 会することが出来る貴重な行事です。毎回準備
 や段取りにたくさんの方のご協力を得られる
 ことも成功の一助だと考えます。

今後、楽しく事故無くできるように、努力し
 ていきたいと思えます。
 (岡野)

親しまれる広報紙って？ 広報事業部

「福祉活動をより身近に感じていただける広
 報紙を目指して努力していますが、未だに試
 行錯誤の連続です。

広報の意味は活動を広く「知って貰う」「理
 解して貰う」その結果、「協力参加して貰う」と
 いうことだと思つのですが、果たしてそれら
 がうまく伝わっているかいつも考えるところ
 です。

昨年末、市社協主催の「親しまれる広報紙つ
 くり」という講習会があり、臼井地区社協から
 も 4 人の部員が参加しました。広報紙づくり
 の基礎的な企画「取材」「原稿」「写真」等が事
 例を交えてお話を聞くことが出来ました。広
 報部では講習会内容をまとめ、今後の広報紙
 づくりのマニュアルにし、これからも今まで以
 上に親しみやすく、「わかりやすい」広報紙
 づくりを心がけていきたいと思つています。

(八田)

寒さの中 暖かな福祉愛を届ける！！ ～友愛訪問～

1月25日(火)、厳しい寒さながら、ほんのりと柔かな日差しが注ぐ中、21名
 の福祉委員が臼井田自治会館に集まり、新春友愛訪問活動を実施しました。

今回は、ひとり暮らしの高齢者の方のお宅へ、プレゼント(ティシュ)と「愛の
 しおり」を持って訪問、交流をしながら安否確認をさせていただきました。

笑顔で「いかが、お過ごしですか」「お風邪をひかないで下さいね」等々声
 を掛け、明るいふれあいの一日となりました。

臼井地区社協としては初めての事業活動でしたが、高齢者のみなさんと福
 祉委員との間に、より一層の強い絆が生まれたようです。

今後も、暖かな福祉を目指して、福祉委員一同頑張っ参ります。

(高齢者福祉事業部 長谷川)



訪問について打ち合わせも入念に



プレゼントを持って、さあ出発

悪質商法 だましのプロにご用心！ 公開講座開催

振り込め詐欺と同様、高齢者の悪質商法被害が後を絶ちません。

1月22日、千葉県消費者センターの福田綾子氏を講師に公開講座「高齢者を狙う悪質商法の被害にあわないた
 めに」を開催しました。(於臼井公民館 参加者70名)

「私は大丈夫」と思っている、相手は「だましのプロ」。話術にたけ、ねらった人の心理や環境につけこみ、
 ときには集団によるチームプレイですきをねらってきます。

被害を防ぐには、普段からの心の準備が大切。そのためにも悪質商法の手口を知っておくことが重要です。特
 徴的な手口としては、必ず金が儲かるなどとうたい、金融商品等との契約を迫る。健康への不安をあおりな
 がら高額な健康食品・医療器具等を買わせる。一人暮らしの高齢者が抱える
 寂しさにつけこみ「自分の話を聞いてくれる親切な人」と思わせ、次々と不当
 な契約をさせる。大切な住居を「このままでは家が危ない」と高齢者の不
 安をあおり、不必要なリフォームを迫る等です。その他、催眠商法(閉め切った
 会場に人を集め、言葉たくみに会場の雰囲気盛り上げて冷静な判断ができ
 ないようにさせ、最終的に高額な商品売りつける)や、次々販売、利殖商法、
 当選商法(あなただけ特別に選ばれました等と有利性を強調して高額な商品
 等売りつける)等、手口は巧妙です。

しかし、不法な契約をしてしまっても、あきらめることはありません。8日
 間以内であれば契約を解除できる制度(クーリングオフ)があります。少しでも不安に感じたら、警察、そして「消費
 者センター」に相談して下さい。

研修部としては、この種の講座を適宜開催し、被害にあわないための啓発活動を行っていきます。

(研修事業部 宇田川)



*** ボランティア紹介 *** 今回から数回に分け、22年度社会福祉活動功績者(団体)を紹介します。

第1回 本番ではアドリブも！

福祉劇団栄ちゃん一座(八幡台)

八幡台で平成8年から活動している、福祉劇団「栄ちゃん一座」。年間8～10回程各地の福祉施設や敬老のつどいに出演しています。演歌劇、寸劇、民謡、フラダンス等に団員がフルに動き回って、皆さんに楽しくホッとするひとときを過ごして貰っています。

元々は、地区のテニスクラブの打ち上げの余興でやった寸劇が評判良かったのと、前年の阪神淡路大地震の後、みなさんボランティア活動に関心が高まったことがきっかけで、長谷川栄一氏を中心に設立し今日に至っています。

当時から、地区内には特技を持った人たちが多くいて、役割毎にスカウトをし、現在は21名の座員で活動しています。

民謡ではコンクールで優勝するほどの実力の人、尺八の名人、寸劇ではシナリオを書く人、大道具、照明、舞台美術等役割も皆さんで分担しています。

さて、施設での公演になれば事前打ち合わせで施設の設備、音響、照明、マイク等の確認後、それらに合わせた演目を決めてから練習となります。当然、初めて行くとすると、2回目に行くところ、また施設によっても演目内容を変えなければいけません。

一回の公演のためにその準備は3、4日はかかるとのこと。とはいえ、素人劇団です。本番の時はアドリブで切り抜けるときもたびたび、観衆はそんなところにも親近感を感じて、拍手喝采で大うけすることもあるようです。

この度、そんな長年の活動が評価され佐倉市社会福祉協議会から感謝状を受けました。これからも「栄ちゃん一座」は、各地の福祉施設等に笑いやホッとするひとときを届けてくれることでしょう。



立ち回りの稽古は念入り



赤城の山も今宵限り～

3/1 住居型有料老人ホーム見学
(染井野ヒルズひまわりの里)



1/12 昔の遊び(王子台地区社協との協働)
写真提供:王子台小学校



3/8 市外施設訪問研修(ふる里学舎)



★今年度の活動いろいろ★

愛の箱&ジャスコ・イエローシートキャンペーンご報告とご協力をお願い

22年度「愛の箱」の集計と、イエローシートキャンペーン後期(9/11～2/11)の結果がまとまりました。

「愛の箱」は現在13箇所に設置させていただいていますが、32,839円の寄付をいただきました。その他個人寄付等を加えると、22年度は**49,106円**となっています。この浄財は今後の臼井地区社協活動に有益に使わせて頂きます。

また22年度後期のイエローシートキャンペーンでは、1,531,830円分のレシートを投函していただきました。その結果、今回は**15,300円分の商品**を頂けることになりました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。今回は23年度のサロン用品と交換させていただきます。3月からまた新しい期が始まっています。今後ともぜひご協力をお願いします！

いろいろな団体がありますが、ぜひ「臼井地区社会福祉協議会」と書かれた箱へ黄色いレシートをご投函ください！今後ともご協力をお願いします。



寒さを吹き飛ばせ！ 演歌で体操 ～ひとり暮らしの高齢者昼食会～

3月3日(木)、恒例のいきいの会(ひとり暮らしの高齢者昼食会)がうすい荘で開催されました。対象者の方で参加されたのは26名、初めて参加された方もいらっしゃいました。

今回は健康管理センター(江原台)の厨房で昼食づくりを行いました。ここは配食サービスの際にも利用しましたが、広く、使い勝手が良かったため、再びお借りすることになりました。お弁当担当者は朝8時30分から約60食を作り、会場であるうすい荘へ運びました。

一方、うすい荘では会場づくりを行ったスタッフがお客様をお迎えし、10時30分に開会。食事前には、佐倉市臼井千代田包括支援センターの方をお迎えして「健康相談」や「講話」が行われました。講話のテーマは「認知症の予防について・これからの見守りー成年後見人制度とは」で、分かり易くお話をしていただきました。

食後のお楽しみは「歌って体操」。同じく包括支援センターの方の指導です。歌を歌いながら体を動かすのは、思っていたより難しいもの。しかしだんだん音楽に合うようになって楽しさも増します。時間いっぱい、懐かしい歌を歌いながら寒さを吹き飛ばしました。



健康管理センターでの昼食づくり



音楽にあわせて動きましょう!



ひなまつり御膳・桜餅も!



包括支援センターについての説明

22年度100円喫茶サロン 残すところあと1回!

恒例の100円喫茶サロンが12月～2月にかけて、各地で開催されました。稲荷台1丁目会館、うすい荘、ニッコー会館とも、健康体操や臼井の歴史のお話、アコーディオンに合わせての歌など、それぞれの特色を生かした催しを行いました。また今回ニッコー会館で開催されたサロンでは「社団法人京葉コンビナート協議会」様よりいただいた「クッキー・コーヒー・ココア」をお客様にお出ししました。ありがとうございました。

22年度のサロンもこれで9回を終了しました。次回3月26日(土)開催の稲荷台2丁目町内会館サロンが今年度最終となります。たくさんの方のご参加をお待ちしています。また、サロン開催に対するご意見・ご要望がありましたら、うすいセンターまたはサロン開催時に福祉委員までお寄せください! 来年度の活動に反映させたいと思います。

編集後記

楽しかったわよNさんは満面の笑顔でした。私がお茶くらいついて回るつかと思つてたら、あなたは今日はお客様なんだから、つて。私Sさんにお茶ついでもちやった! Sさんは前自治会長、Nさんに言わせれば「えらい人」。Nさんは昨日の「いきいの会」の話をしているのです。昨日は今までの人みんな体具合が悪くなつちやつて、私以外新メンバーだったの、Cさん、Dさん、Eさん、私と4人でね。その4人で話してるつち、ほかの人も誘つて時々お茶でも飲もうかつて事になつたの、みんな寂しい人だもの。『いきいの会』がきっかけで地域に小さな輪ができるかもしれせん。バスが駅についてNさんは手を振つて別れて行きました。世話好きで優しいNさん、肩書きは何もなくとも、こういつ方こそ本当の意味での福祉委員なのだと思はれました。

(O)

ご意見はうすいセンターまで

「うすいセンター」(臼井・王子台・臼井東地区社協合同事務所)
 臼井地区社協担当日は
 毎週月曜日・木曜日
 開館時間: 午前9時半～午後4時半
 (12時～1時は昼休憩です)
 住所: 佐倉市王子台1 23
 レイクピアウスイ3階
 電話: 043(462)0743
 メールアドレス:
 center-usui@catv296.ne.jp
 ホームページ:
<http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyo/>